

正誤表

「表現主義と気韻生動：北清事変から大正末年に至る橋本関雪の軌跡と京都支那学の周辺」

『日本研究』第51集

2020年6月25日

頁	誤	正
p.100 最後から3行	犬飼	犬養
p.102 下段 11行	絵透視図法	透視図法
p.115 上段 11行	伝統的に宋から元にかけて	明治期に
p.116 下段 2行	支那学	支那学者
p.116 下段 8行	公園	講演
p.116 下段 最終行	のほかに	ほかに
p.117 下段 10行	図鑑	図巻
p.123 注 37 7行目引用部	阿咄了数新竿	唔咄課了数新竿
p.124 注 62 に右を補う。		出典は沈宗騫の『芥舟学画編』。江戸時代に広く読まれたもので、田中豊蔵は「破墨の弁」(『国華』三四二号、一九一八年十一月、一八二—一八五頁)でこれに触れ、「余程の珍説」と述べている。久世夏奈子氏のご教示に謝す。